

加古川市民病院機構 決算概要(2018年度)

【損益計算書】 (単位：百万円)

	法人合計					
	2016	2017	2018	2018 計画	増減 (2018- 2017)	増減 対計画
総収益	19,856	22,687	24,595	22,977	1,908	1,618
営業収益	19,599	22,453	24,265	22,706	1,812	1,559
医業収益	17,676	20,659	22,499	20,976	1,840	1,523
入院収益	12,557	14,614	15,482	14,787	868	695
外来収益	4,595	5,448	6,417	5,589	969	828
その他医業収益	524	597	600	600	3	0
その他営業収益	1,923	1,794	1,766	1,730	▲28	36
営業外収益	213	234	330	271	96	59
臨時収益	44	-	-	-	-	-
総費用	20,532	20,730	22,437	21,739	1,707	698
営業費用	18,384	19,897	21,517	20,910	1,620	607
医業費用	17,837	19,437	21,042	20,450	1,605	592
給与費	9,307	9,807	10,466	10,552	659	▲86
材料費	4,456	5,360	6,157	5,433	797	724
経費	2,616	2,631	2,831	2,800	200	31
その他	1,458	1,638	1,588	1,665	▲50	▲77
一般管理費	547	460	475	460	15	15
営業外費用	798	824	908	829	84	79
臨時損失	1,350	9	12	-	3	12
当期純利益	▲676	1,956	2,158	1,238	202	920

運営費負担金収益	1,839	1,711	1,660	1,666	▲51	▲6
運営費負担金収益除き純利益	▲2,515	245	498	▲428	253	926

(注1) 計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

【主要指標】

	合計				
	2017	2018	2018 計画	増減 (2018- 2017)	増減 対計画
入院患者数(人)	199,978	198,498	199,290	▲1,480	▲792
入院単価(円)	73,078	77,997	74,200	4,919	3,797
病床稼働率(%)	91.3	90.6	91.0	▲0.7	▲0.4
平均在院日数(日)	10.2	9.8	-	▲0.4	-
外来患者数(人)	331,198	349,622	336,720	18,424	12,902
外来単価(円)	16,450	18,354	16,600	1,904	1,754
検査機器利用件数【CT】(件)	46,205	51,973	46,000	5,768	5,973
検査機器利用件数【MRI】(件)	18,033	20,360	18,500	2,327	1,860
検査機器利用件数【R】(件)	5,292	5,214	-	▲78	-
検査機器利用件数【PET-CT】(件)	1,881	2,128	2,000	247	128
手術件数(件)	7,714	8,352	8,000	638	352
内視鏡検査数(件)	12,139	12,475	12,500	336	▲25
救急車受入件数(件)	7,248	7,653	7,200	405	453
紹介率(%)	77.6	77.6	70	0	7.6
逆紹介率(%)	96.5	99.5	75	3	24.5

	機構全体					
	2016	2017	2018	2018 計画	増減 (2018- 2017)	増減 対計画
経常収支比率(%)	103.3	109.5	109.7	105.7	0.2	4.0
医業収支比率(%)	99.1	106.3	106.9	102.6	0.6	4.3
材料費比率(%)	25.2	25.9	27.4	25.9	1.5	1.5
医薬品費比率(%)	10.5	11.5	12.7	11.7	1.2	1.0
診療材料費比率(%)	14.3	14.3	14.5	13.3	0.2	1.2
給与費比率(%) [給与費(医業)/医業収益]	52.7	47.5	46.5	50.3	▲1.0	▲3.8
経費比率(%) [経費(医業)/医業収益]	14.8	12.7	12.6	13.3	▲0.1	▲0.7

■トピック

【2017年度】

- ・2017.6 MRI 3台稼働
- ・2017.7 総合入院体制加算Ⅱ取得
- ・2017.10 脳神経外科2名体制 脳血管内治療の開始

【2018年度】

- ・2018.4 乳腺外科 本格治療の開始
- ・2018.4 常勤病理医着任
- ・経カテーテル大動脈弁置換術、肥満外科治療の開始

職員数(正規職員) 各年度4/1

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	増減(2018-2017)
医師※	129	139	147	144	148	171	190	219	232	29
看護師	484	515	536	553	613	669	681	707	727	26
総職員数	790	842	876	897	973	1071	1101	1173	1228	72

※医師は正規職員+初期研修医+嘱託職員

【貸借対照表】

(単位：百万円)

	2017 年度末	2018 年度末	増減		2017 年度末	2018 年度末	増減
資産の部	30,288	32,026	1,738	負債の部	26,035	25,581	▲454
固定資産	20,136	19,407	▲729	固定負債	21,942	21,142	▲800
流動資産	10,152	12,619	2,467	流動負債	4,094	4,439	345
				純資産の部	4,253	6,446	2,193
				資本金	1,357	1,357	-
				資本剰余金	212	247	35
				利益剰余金	2,683	4,841	2,158
資産計	30,288	32,026	1,738	負債・純資産計	30,288	32,026	1,738

(注1) 計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

- ・固定資産の減少要因
 - 医療機器等購入による器械備品等の増加 833
 - 減価償却・除却による減 ▲1,536
- ・固定負債の減少要因
 - 長期借入金金の減少 ▲913
 - 職員増加にともなう退職給付引当金の増加 158
- ・流動負債の増加要因
 - 1年以内返済予定長期借入金金の増加 160
 - 未払金の増加 84
 - 預かり保証金等による預り金の増加 82
- ・純資産の増加要因
 - 収支改善に伴う利益剰余金の増加 2,158
- ・流動資産の増加要因
 - 収益増による利益増による現預金の増 2,437
 - 稼働UPによる医業未収金の増 35

【キャッシュフロー計算書】

(単位：百万円)

	2017	2018	増減
I 業務活動によるキャッシュフロー	3,430	3,568	138
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲2,220	▲5,577	▲3,357
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲995	▲753	242
IV 資金増加額	215	▲2,762	▲2,977
V 資金期首残高	4,300	4,515	215
VI 資金期末残高	4,515	1,753	▲2,762

※期首、期末残高には、定期預金が含まれていない。

2017期首(0)、2017期末(1,600百万円)、2018期首(1,600百万円)
2018期末(6,800百万円)

【行政サービス実施コスト計算書】

(単位：百万円)

	2017	2018	増減
I 業務費用	▲84	▲316	▲232
(1) 損益計算上の費用	20,730	22,437	1,707
(2) (控除) 自己収入等	▲20,814	▲22,753	▲1,939
II 機会費用	41	-	▲41
III 行政サービス実施コスト	▲43	▲316	▲273